

第29回 市長と話そう会

- ◆日 時 令和2年10月20日（火）
10：00 ～ 11：30
- ◆場 所 リハ特化型デイサービス
菜の花 デイルーム
- ◆出席者 リハ特化型デイサービス
菜の花 管理者 鷲頭 様 他 2名



市民の皆様と市長が直接語り合う「市長と話そう会」第29回目は、リハ特化型デイサービス菜の花の職員の皆さんと「武雄市における高齢者の介護予防について」という内容で意見交換を行い、多数のご意見をいただきました。熱意ある事業所の職員のみなさんが武雄市の介護予防事業をしっかりと支えてくださっていることに感謝し、介護予防について勉強させていただく時間となりました。以下、抜粋して掲載しております。

（鷲頭氏）

今元気な方をいかに維持するか、または更に元気になってもらうのが大切である。この点で事業対象者への介護予防が大きな役割を果たすが、社会資源が不足しこの事業対象者が利用できるサービスが不足しているのが現状である。

生きがい対応型デイサービスについては、機能訓練の役割を十分に果たしていないと感じている。条例では介護認定（事業対象者を含む）を受けていない方を対象としている事業であるがその解釈を見直し、生きがい対応型デイサービス事業を利用しながら機能訓練は介護予防事業所との併用で補うなど、様々な介護予防事業のネットワークを構築しながら整備すべきと考える。

（市長）

生きがい対応型デイサービスによくお邪魔するが、利用者は楽しくされていてまさに居場所になっていると思う。鷲頭さんの話を聞いて生きがい対応型デイサービスにも機能訓練の充実が必要であると認識した。

（市長）

利用者の目線で言えば、制度が複雑であり細分化されて分かりにくいと感じる。もう一度市民目線で分かりやすく整理をするべきではないかと思う。

(市長)

生きがい対応型デイサービスは市としても検証が必要であると考えます。また、地域包括ケアシステムや生きがい対応型デイサービスなど介護保険の手前のサービスの整理もしなければならぬし、老人福祉センターなど今ある施設を活用することもできるだけ早く行いたい。何かいいアイデアはありますか。

(鷺頭氏)

制度の周知がなされていない、どこに行ったらいいのか相談窓口が分かりにくいという声を聞く。制度周知、相談窓口周知が必要であると思う。

(市長)

市民のみなさんが「気になるな、やりたいな」と思う時にずっと行ける環境づくりができないだろうかと考える。介護予防は大事であるし、関わりたいという潜在的なニーズもあるが、大事なのは市民のみなさんがちょっとやってみたいと思った時に気軽にできる環境をどう作っていくのか、またそれを分かりやすくすることが大切。介護予防を手厚くしていくために、制度上われわれがどこまでできるのかを考えたいと思う。

男性の居場所はどうしたら増えるのか。何かアイデアはありますか。

(鷺頭氏)

運動を中心とした場所で、ちゃんとした効果が見えるまでいかに継続できる環境があるのか、また目標があり個別に指導してもらえるのかということかと思う。

(市長)

運動だけではなく外に出るきっかけ、(運動が嫌いな男性もいるので)、何かきっかけを作ることができればと考える。2年後になるが白岩運動公園や体育館を新しくする計画があり、そこは運動していない人がくる運動公園にしたいし、運動につなげるきっかけの入り口のひとつになればと思っており、またスポーツ分野だけでなくしっかりと介護予防にもつなげたいという構想を持っている。